

北信越エリア初。心理学専門学部 誕生

VUCA※時代、社会の多領域において、心理学的なアプローチで課題を解決できる人材を。

2026年より、従来の心理学科が心理学部へバージョンアップ。そもそも、人が介するあらゆるシーンに存在してきた心理学の学びを、実社会のあらゆる領域において応用できる「知」へ。

※Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性)の4つの頭文字をとって出来た単語。「先行きが不透明で予測困難な」の意。



目指す進路別の3コース

ビジネス社会
コース

発達・心理臨床
コース

行動データサイエンス
コース

企業、公務員、経営

医療、福祉、教育

研究、企画、開発



水田敏郎
心理学科長

専門性の高い心理学の力を、あらゆるステージで活用できる人材育成へ。

このたび、心理学科が心理学部となったことで、専門的知識を社会で応用する学びが、広く深く濃くなりました。一般企業や公務員から、医療、福祉関係などの、幅広い分野でその専門性を活かすための学びが充実化されています。誕生した3つのコースでは、専門性の高い心理学を各ステージに合わせ、多様化する社会課題解決に落とし込んでいく術の習得を目指します。育成するのは、人間の本質的部分から社会をより豊かにする人材です。

「学びたい」をクロス！異分野の60以上の授業で知的好奇心を深化させる

NEWS!
学部・学科を
超えた学び

心理学科

ビジネスコミュニケーション学科 異文化の理解、オール・コミュニケーション、会計学、などの科目

健康栄養学科 食品の加工技術、生命科学、食文化、などの科目

子ども教育学科 保育学、子どもと食育、子どもと映像文化、などの科目

各学科が他学科生に開放する専門科目を履修することによって、大学卒業後のキャリアプランに合わせた独自の授業プログラムを組むことができます。

3つのコースから見える 社会のステージ

同等の「心の学び」をセレクトしている先輩たちの声

3つのコースは、2026年から始まりますが、新しい3つのコースから
目指せる進路を視野に入れて学んでいる先輩たちがいます。

ビジネス社会コース



それは、プロジェクトをまとめ、
経済を動かす。

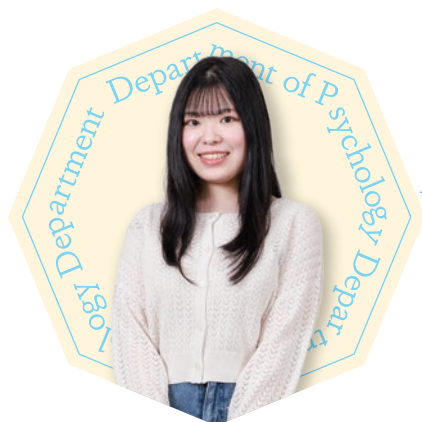
4年生

河合一真 (丹生高校出身)



将来、就きたいのは営業職。理由は、プロジェクトを成し遂げた時の達成感です。大学ではダンスサークルに所属し、様々なイベントに参加するためにメンバーをまとめたりする役割を果たしています。また、身近に商社へ就職した先輩がいて、楽しそうに教えてくれる営業の話にも影響を受けています。営業の仕事に活けると感じている心理学の学びはいくつもあります。例えば「消費者心理学」。顧客の購買理由を論理的に考えられます。その他、「産業・組織心理学」などのリーダーシップ理論は、リーダー育成にも役立ちます。「ビジネス社会コース」として整備・拡充された学びは、いろんな企業に求められる学びになるのではないのでしょうか。

発達・心理臨床コース



それは、深く広く内側を見つめ、
人を支える。

4年生

佐藤結菜 (北陸学院高校出身)



スクールカウンセラーを目指しています。きっかけは、中学生の頃に人間関係がうまくいかず、スクールカウンセラーの方にお世話になったことです。自分も、人を内面から支える仕事に就きたいと思って進路を探した時に、多様な領域について学べて大学院がある仁愛大学にたどり着きました。「臨床心理学演習」のような、グループワークで多彩な考えを共有できて視野が広がる授業があることも、魅力に感じました。心理学は、自分だけでなく、他者の心についても共感を持って理解する学問。人が困難に直面して思い悩んでいる時に、内面から確かな援助ができるのは、人間ならではの力だと思います。

行動データサイエンスコース



それは、関係者全員を救う
マネジメントを生む。

4年生

杉本愛華 (仁愛女子高校出身)



携わりたいのは、福祉施設のマネジメント。思いの始まりは、祖母が長年介護に関わる仕事をしていたことでした。心理学を学ぶ中、「人の行動や気持ちに対する科学的な理解が支援につながる」と実感し、福祉現場と経営の両方から人を支える仕事になりたいと思うようになりました。そのための学びとして、例えば、「行動解析実習」では、日常のささいな行動にも深い意味があることを学べます。また、「生理心理学実習」では人のストレスや感情の変化をデータで見る方法を学びました。福祉の現場では、言葉にしばらい高齢者の気持ちを行動から読み取る力が大切です。これらの知識は、利用者さんだけでなく、働くスタッフのケアにも役立ちます。